



## 2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年3月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハニーズホールディングス

コード番号 2792

URL <https://www.honeys.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江尻 英介

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 佐藤 成展

(TEL) 0246-29-1111

四半期報告書提出予定日 2023年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年5月期第3四半期の連結業績(2022年6月1日~2023年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2023年5月期第3四半期	37,484	15.7	3,530	107.2	3,845	115.4	2,441	109.3
2022年5月期第3四半期	32,387	0.2	1,703	11.1	1,785	11.3	1,166	10.5

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 1,546百万円(43.6%) 2022年5月期第3四半期 1,076百万円(22.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	87.60	—
2022年5月期第3四半期	41.84	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2023年5月期第3四半期	45,522	38,184	83.9	1,370.29
2022年5月期	46,579	37,754	81.1	1,354.78

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 38,184百万円 2022年5月期 37,754百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2023年5月期	—	20.00	—		
2023年5月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	52,000	9.0	6,000	20.2	6,100	20.6	3,900	19.8	139.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年5月期3Q	27,900,000株	2022年5月期	27,900,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年5月期3Q	34,302株	2022年5月期	32,632株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年5月期3Q	27,866,474株	2022年5月期3Q	27,868,075株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、次頁以降の添付資料をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる規制が緩和され、経済活動の正常化や個人消費の回復が進む一方、原材料高や円安進行に伴う物価上昇などが下押し要因となりました。婦人服専門店業界においては、同感染症による行動制限等の影響は緩和されましたが、原材料高や円安進行により仕入コストは上昇傾向となり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のなか、当社グループは高いアセアン生産比率を維持し、「高感度・高品質・リーズナブルプライス」な商品コンセプトのもと、お客様視点による「高品質な商品、丁寧な接客、居心地の良い店舗」の実現に努めたほか、自社ECサイトのユーザビリティ向上に取り組み、お客様のニーズに対応した商品企画やSNS等を活用した積極的な集客・販促活動を展開しました。

		2022年5月期 第3四半期 連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	2023年5月期 第3四半期 連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	増減	増減率
売上高	(百万円)	32,387	37,484	5,096	15.7%
営業利益	(百万円)	1,703	3,530	1,826	107.2%
経常利益	(百万円)	1,785	3,845	2,060	115.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	(百万円)	1,166	2,441	1,275	109.3%

国内店舗数	(店舗数)	861	865	4	0.5%
-------	-------	-----	-----	---	------

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高374億84百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益35億30百万円（同107.2%増）、経常利益38億45百万円（同115.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益24億41百万円（同109.3%増）となりました。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大や縮小はあったものの、3年ぶりに行動制限がない年末年始となるなどその影響は緩和し、外出機会が回復したことで売上高は伸長しました。また、商品価格の一部見直しを実施しましたが、値上げ幅を最小限に留めたことやお客様からの理解も一定いただけたことで増収となりました。

EC事業は、検索機能の充実など自社ECサイトのユーザビリティ向上に注力したほか、SNS等を用いたコーディネート提案、WEB限定や店舗との合同イベントの随時開催など積極的に販促活動を行った結果、自社ECサイトを中心に伸長しました。

収益面につきましては、引き続きEC事業の伸長に加え、適切な在庫コントロールのもとプロパー消化の促進と値引きの抑制を行い、需要に沿った商品投入による販売チャンスロスの低減に努めました。また、高いアセアン生産比率を活かした安定的な商品供給とミャンマー子会社の生産効率向上に努めた結果、売上総利益率は59.1%（前年同期比0.1ポイント増）を確保しました。また、為替予約による為替変動リスク低減も水準維持の要因となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、186億7百万円（前年同期比6.9%増）、販管費率は49.7%（前年同期比4.0ポイント減）となりました。人件費は、給与ベースアップに加えてインフレや業績推移に伴う手当を増額し前年同期を上回りました。店舗費は、主に売上増加に伴う店舗使用料や物価高による電気代等が増加しました。その他経費では、EC商品発送費用やショップバックなどの包装費、キャッシュレス決済等の利用増加で手数料等が増加しました。

以上の結果、販売費及び一般管理費は前期比増となりましたが、売上高及び売上総利益の確保により、増収増益となりました。

店舗展開につきましては、引き続きスクラップアンドビルドを進めた結果、当第3四半期連結累計期間末における国内店舗数は865店舗となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて、10億56百万円減少して455億22百万円となりました。これは、主に現金及び預金が9億32百万円、棚卸資産が5億5百万円それぞれ増加し、売掛金が11億48百万円減少したほか、その他流動資産が12億30百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて、14億86百万円減少して73億38百万円となりました。これは、主に未払法人税等が5億88百万円、契約負債が4億28百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、4億29百万円増加して381億84百万円となりました。これは、主に利益剰余金が13億26百万円増加し、繰延ヘッジ損益7億34百万円、為替換算調整勘定が1億79百万円それぞれ減少したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は83.9%となり、安定した財政状態を維持しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の連結業績予想につきましては、2023年1月6日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,537,002	13,469,450
売掛金	3,430,548	2,282,343
棚卸資産	7,511,709	8,017,085
その他	4,335,702	3,105,237
流動資産合計	27,814,962	26,874,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,062,885	6,991,293
その他	3,361,373	3,232,100
有形固定資産合計	10,424,259	10,223,393
無形固定資産		
その他	272,850	255,458
無形固定資産合計	272,850	255,458
投資その他の資産		
差入保証金	6,547,847	6,545,612
その他	1,519,352	1,624,306
投資その他の資産合計	8,067,200	8,169,918
固定資産合計	18,764,310	18,648,770
資産合計	46,579,272	45,522,887
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	433,944	410,620
未払法人税等	1,010,789	422,034
ポイント引当金	46,525	63,678
契約負債	1,579,830	1,151,798
資産除去債務	25,307	33,411
その他	2,828,862	2,403,300
流動負債合計	5,925,259	4,484,845
固定負債		
退職給付に係る負債	1,268,057	1,335,016
資産除去債務	1,523,793	1,510,921
その他	107,770	8,007
固定負債合計	2,899,620	2,853,944
負債合計	8,824,880	7,338,789

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,566,800	3,566,800
資本剰余金	3,946,099	3,946,119
利益剰余金	28,725,620	30,052,294
自己株式	△36,277	△38,447
株主資本合計	36,202,242	37,526,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,825	13,398
繰延ヘッジ損益	2,248,393	1,513,917
為替換算調整勘定	△663,002	△842,317
退職給付に係る調整累計額	△29,416	△27,665
その他の包括利益累計額合計	1,552,149	657,331
純資産合計	37,754,392	38,184,098
負債純資産合計	46,579,272	45,522,887

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2023年2月28日)
売上高	32,387,902	37,484,233
売上原価	13,275,542	15,347,047
売上総利益	19,112,360	22,137,186
販売費及び一般管理費	17,408,719	18,607,123
営業利益	1,703,640	3,530,062
営業外収益		
受取利息	2,514	21,107
受取配当金	469	3,024
為替差益	—	213,329
受取地代家賃	12,006	13,078
受取補償金	499	1,653
助成金収入	50,976	15,746
金銭の信託運用益	—	12,372
工事負担金等受入額	1,142	11,233
雑収入	25,698	24,812
営業外収益合計	93,307	316,358
営業外費用		
為替差損	11,816	—
雑損失	125	846
営業外費用合計	11,942	846
経常利益	1,785,004	3,845,574
特別利益		
助成金収入	122,252	—
その他	221	—
特別利益合計	122,474	—
特別損失		
固定資産除却損	58,215	50,660
減損損失	33,339	116,057
新型コロナウイルス感染症による損失	24,075	—
その他	4,162	165
特別損失合計	119,792	166,883
税金等調整前四半期純利益	1,787,686	3,678,691
法人税、住民税及び事業税	681,639	1,099,040
法人税等調整額	△60,227	138,303
法人税等合計	621,411	1,237,344
四半期純利益	1,166,275	2,441,347
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,166,275	2,441,347

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	1,166,275	2,441,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,443	17,223
繰延ヘッジ損益	180,320	△734,476
為替換算調整勘定	△207,684	△179,315
退職給付に係る調整額	△26,801	1,750
その他の包括利益合計	△89,608	△894,817
四半期包括利益	1,076,666	1,546,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,076,666	1,546,529
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは日本のみであり、その他のセグメントの全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。